

## 主な内容

- ◆議案審議 1・5面
- ◆一般質問 2・3・4・5面
- ◆議会のうごき 5面
- ◆陳情・意見書 6面
- ◆9月定例会日程 6面
- ◆議会報告会結果報告 6面

## 6月定例会

# 市税条例の一部を改正



“夏だ” 大自然、水、緑、涼を求めて夏満喫＝水無川上流（撮影者・栗原正行さん）

6月定例会は、6月5日(木)から25日(水)まで21日間の会期で開催されました。  
この定例会では、条例の一部改正や一般会計補正予算など市長提出議案等22件(うち、報告9件)のほか、議提議案1件を審議しました。  
(議決結果は、1・5面に掲載)

### 国の地方税制改正に伴い 法人市民税、軽自動車税などを改定

秦野市市税条例の一部を改正することについて

設備などの課税標準に係る軽減割合を設定すること。

#### ▼要旨

地方税法の一部改正に伴い、次のとおり改正するもの。①法人市民税法人税割の税率を引き下げる。②軽自動車税について、その税率を引き上げるとともに、経年車に対する重課税率を設定すること。③固定資産税について、耐震改修を実施した場合に受けることができる減額措置に係る申告手続きを定めるとともに、公共の危害防止のために設置された施設、

#### ▼付託委員会

総務常任委員会

#### ▼委員会での主な質疑・意見

**問** 国の地方税制改正に伴い、法人市民税法人税割の税率を引き下げるものであるが、その目的はどのようなか。  
**答** 現下の社会・経済情勢や地域間の税源の偏在性などから、地方自治体間における財政力格差がさらに拡大することが見込まれる。地方自治体によって収入額に差が

あり、偏在性の大きな財源である法人市民税法人税割の税率を見直し、地方交付税として再配分することにより、財政力格差の縮小を図ることが主な目的である。  
**問** 法人市民税法人税割の税率を引き下げることだが、法人の負担は軽減されるのか。  
**答** 地方法人税が国税として創設され、引き下げ分と同じ税率で賦課されるため、負担は変わらない。  
**意見** 軽自動車税は、使途を特定しない普通税であるが、納税者に対する還元を考慮し、道路などの基盤整備の充実に回すべきである。  
**▼反対討論**  
市民に不可欠な移動手段である軽自動車や原動機付自転車などに対する増税は、消費税増税と合わせて二重の負担増を市民に押し付けることから、反対する。  
**▼議決結果**  
委員会 原案可決(賛成多数)  
本会議 原案可決(賛成多数)

### 永年勤続議員表彰

#### ○諸星 光議員

昭和10年生まれ。当選8回。無所属。秦野市議会議長、監査委員、秦野市伊勢原市環境衛生組合議会議長等を歴任。市内渋沢上二在住

#### ○小菅基司議員

昭和40年生まれ。当選3回。無所属。秦野市議会副議長、総務常任委員会委員長、決算特別委員会委員長等を歴任。市内春日町在住

#### ○村上 茂議員

昭和24年生まれ。当選3回。無所属。現秦野市議会議長。秦野市議会副議長、環境産業常任委員会委員長等を歴任。市内堀山下在住

#### ○佐藤 敦議員

昭和36年生まれ。当選3回。無所属。秦野市議会副議長、文教福祉常任委員会委員長、都市建設常任委員会委員長等を歴任。市内渋沢在住

#### ○川口 薫議員

昭和31年生まれ。当選3回。無所属。現文教福祉常任委員会委員長。秦野市議会副議長、総務常任委員会委員長等を歴任。市内幸町在住

#### ○高橋照雄議員

昭和23年生まれ。当選3回。無所属。現秦野市伊勢原市環境衛生組合議会議長。秦野市議会副議長を歴任。市内南矢名在住



佐藤 敦議員



諸星 光議員



川口 薫議員



小菅基司議員



高橋照雄議員



村上 茂議員